



自民公明クラブ
さの たけし
佐野 武次 議員



新年度予算編成方針の重点項目

問 子育て支援センターの受け入れ人数は充足しているか。

答 子育て支援センターは、それぞれ35人から50人程度が受け入れ可能で、昨年度の1日平均利用者はおおむね10人から20人で、受け入れに支障が生じることはない状況にある。

問 袋井駅周辺エリアの魅力あるまちづくりの実現は。

答 袋井駅北地区の持続的にぎわいづくりに向けては、生活を充実させる場への転換を図ることが必要である。その上で「まちなか再生」には定住人口の増加が不可欠であることから、都市拠点としてふさわしい魅力あるまちづくりに向け、歩道の再整備を含め、さまざまな検討を重ねたい。

問 太陽光発電設備の処理は。

答 本市には、パネル面積換算すると約52万平方メートル相当の太陽光発電設備がある。使用済みパネルを適切に処理することは全国的な課題で、国もパネルリサイクルの義務化に向けた議論を開始したところであり、こうした国の動向も注視し、適切な廃棄やリサイクルを呼びかけたい。

問 ふくろい53330（ごみさんま）運動の目標が未達成となった場合、ゴミ処理の有料化は再検討するか。

答 ごみ処理経費は年々増加しているため、さまざまな状況を踏まえた上で検討しなければならない状況も生じるものと考えている。

問

ふくろい応援商品券の継続実施は。本事業は、コロナ禍の緊急経済対策として、売り上げが減少した事業者支援を目的として実施した背景があり、一般財源のみでの対応は難しいと考えるが、国の動向及び産業施策全般の組み立てや施策の必要性を見極める中で検討したい。

問 米作りにおける夏の高温対策として、用水の取水時期を早めることはできないか。

答 関係者の意向を報告・共有化し、各市町や土地改良区との調整及び合意形成を図った上で、関係省庁に対し要望したい。

その他の質問事項

- ・持続可能なまちづくりのための人材育成
- ・健康長寿で暮らしを楽しむまちの推進
- ・活力みなぎる産業の推進
- ・安全・安心に暮らせるまちの推進
- ・市民がいきいきと活躍するまちの推進
- ・任期満了に伴う大場市長の去就



ふくろい応援商品券

一般質問とは

個々の議員が市政全般にわたり市長・教育長に対して行う質問で、各定例会で行います。質問時間は1人30分以内となっています。

質問内容

代表質問・一般質問の日程と内容をご紹介します。



質問方式

①一括質問一括答弁

議員が全ての質問をまとめて行い、市長などもまとめて答弁を行います。

なお、再質問・再々質問まで行うことができます。

②一問一答

議員の質問と市長などの答弁を一問ずつ交互に行います。

代表質問とは

翌年度の市政の運営に向けて会派の政策提言・提案という趣旨で会派を代表する議員が行うものです。

本市議会では11月市議会定例会で、一般質問に先立ち行います。質問時間は、会派の人数によって異なります。

**1会派あたり20分 + (会派の人数×5分)
上限60分**

○市民クラブ

20分+(2人×5分)=30分

○緑風会

20分+(5人×5分)=45分

○自民公明クラブ

20分+(10人×5分)=60分(上限)